

ふくしまウォーターPPP/PFI プラットフォームの取り組み
(第1回セミナー:2024.7.24 開催)

目的

ウォーターPPPの推進に向けて、

- ・施策の理解度向上。
- ・ノウハウの取得。
- ・官民対話と情報共有。

まずは、聞こう話そう!!

パネルディスカッション

レベル 3.5 の試行を行っている昭和村の事例について、その関係者（村、受注者、県）によるディスカッション方式で紹介。

意見交換(マッチング)

官民のニーズとシーズを、フラットな立場で気軽に話が出来る場を提供。

<今回の参加者>

民間企業：27社 59名
自治体：26市町村 45名
団体：1公財法人 4名

*オペレーション、メーカー、コンサルタント、ゼネコン、エネルギー、物流、点検・調査、資材など様々な業種の方々に参加頂きました。

パネルディスカッションの内容

- ◆ コンセプション light
= ウォーターPPP の管理・更新一体マネジメント方式 (レベル 3.5)
- ◆ 昭和村の経緯
- ◆ 役場内の関係部署との調整
- ◆ 県の技術的支援
- ◆ 民間企業の不安
- ◆ 自治体の不安
- ◆ 試行の現状と効果 (成果)
- ◆ お金のこと…etc

これらについて、関係機関の各々がどのように取り組んだのか。どのような課題があり、どう乗り越えたのか。現段階で問題は発生していないのか。などを、建て前ではなく本音でトーク。

“なるほど、そうなんだ”の気づき!!



意見交換（マッチング）の内容

官民とも漠然としたイメージの中でのフリートーク。

<官側>◆こんなことがしたい。 ◆何をすれば良いのか・・・？

<民側>●こんなことができる。 ●何を求められているのか・・・？



新しい施策にどの様にアプローチして行けば良いのかわからない中で、様々な業種、立場の方々が、官-民、官-官、民-民で意見交換を行い、クロスインダストリーによる新たな気づき、発見があり、推進へ向けた第一歩となった。



「きっかけ」「芽ばえ」の広がり！！

実施効果

- ◎なぜ今ウォーターPPPなのか？自分達に何が必要なのか？持続可能な上下水道事業の構築へ、官民連携の必要性を官民ともに実感できた。
- ◎レベル3.5の実態を知ることができ、「自分達にも出来る！！」と多くの関係者が自信を得た。
- ◎官民連携推進への重かった扉が大きく開かれた！！

持続可能な上下水道事業へのキックオフ！！

今後の取り組み

官民連携の推進へ、「ふくしまウォーターPPP/PFIプラットフォーム」の取り組みを継続するとともに、市町村への更なる支援を行っていく。

- 取り組みの継続。（有識者講演、現地調査など）
- 県による支援の拡充と継続。（勉強会）（ひな形の提供）（事業スキームの提案）
- レベル3.5事例の積み上げ。（試行の提案）